

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年12月28日(2017.12.28)

【公開番号】特開2016-53704(P2016-53704A)

【公開日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-023

【出願番号】特願2014-237230(P2014-237230)

【国際特許分類】

G 09 F 9/00 (2006.01)

G 02 B 27/22 (2006.01)

G 09 F 9/30 (2006.01)

G 03 B 35/18 (2006.01)

H 04 N 5/64 (2006.01)

【F I】

G 09 F 9/00 350Z

G 02 B 27/22

G 09 F 9/30 308A

G 03 B 35/18

H 04 N 5/64 501Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月16日(2017.11.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

枠部と、表示部と、を有し、

前記表示部は、前記枠部と間隔を空けて位置し、

前記表示部は前記枠部の開口と重なり、かつ、前記表示部の端部は前記枠部と重なり、前記表示部は、曲面を有することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

枠部と、表示部と、を有し

前記表示部は、前記枠部と間隔を空けて位置し、

前記表示部は前記枠部の開口と重なり、かつ、前記表示部の端部は前記枠部と重なり、前記枠部および前記表示部は、それぞれ曲面を有し、

前記枠部の曲面の曲率と、前記表示部の曲面の曲率は異なることを特徴とする表示装置

。

【請求項3】

枠部と、可撓性を有する表示部と、

画像データが供給され、制御信号を出力することができる演算処理部と、

前記制御信号が供給され、前記表示部の湾曲の度合い又は湾曲の方向を変化させることができる駆動制御部と、を有し、

前記演算処理部は、前記画像データを解析することで、前記制御信号を生成することを特徴とする表示装置。

【請求項4】

可撓性を有する枠部と、可撓性を有する表示部と、

画像データが供給され、制御信号を供給することができる演算処理部と、
前記制御信号が供給され、前記枠部および表示部の湾曲の度合い又は湾曲の方向を変化
させることができる駆動制御部と、を有し、
前記演算処理部は、前記画像データを解析することで、前記制御信号を生成することを
特徴とする表示装置。

【請求項5】

請求項1乃至請求項4のいずれか一において、
前記枠部が遮光性を有することを特徴とする表示装置。